

# 4つのき

〒525-0059 草津市野路9丁目6番12号 TEL 563-1271 FAX 563-1306

今年<sup>ことし</sup>は、早々<sup>はやばや</sup>と梅雨<sup>つゆ</sup>に入りましたが、雨<sup>はい</sup>の合間<sup>あめ</sup>を縫<sup>あいま</sup>って5年生<sup>ねんせい</sup>が田植<sup>たう</sup>えをすることができました。地域<sup>ちいき</sup>の方<sup>かた</sup>のご尽力<sup>じんりよく</sup>のおかげで、JA<sup>うらて</sup>の裏手<sup>た</sup>にある田んぼ<sup>か</sup>をお借り<sup>か</sup>することができました。昨年度<sup>さくねんど</sup>はコロナ禍<sup>か</sup>で休校<sup>きゅうこう</sup>でしたので、教師<sup>きょうし</sup>だけで田植<sup>たう</sup>えをしたことを思い出<sup>おも</sup>します。今年<sup>ことし</sup>は子ども<sup>こ</sup>たちが自分<sup>じぶん</sup>の手<sup>て</sup>で植<sup>う</sup>えることができ喜<sup>よろこ</sup>んでいます。

また田植<sup>たう</sup>え当日<sup>とうじつ</sup>には地域<sup>ちいき</sup>や保護者<sup>ほごしゃ</sup>の方<sup>かた</sup>にたくさん来<sup>き</sup>ていただき、教<sup>おし</sup>えていただいたり、手<sup>て</sup>伝<sup>た</sup>っていたり、温<sup>あたた</sup>かい雰<sup>ふん</sup>囲<sup>い</sup>気<sup>き</sup>の中<sup>なか</sup>で活<sup>かつ</sup>動<sup>どう</sup>できました。初<sup>はじ</sup>めて田んぼ<sup>た</sup>に入<sup>はい</sup>る子<sup>こ</sup>どもがほとん<sup>ど</sup>でしたが、泥<sup>どろ</sup>だらけになりながらも楽<sup>たの</sup>しんで取<sup>と</sup>り組<sup>く</sup>んでいました。教室<sup>きょうしつ</sup>に戻<sup>もど</sup>ってからは振<sup>ふ</sup>り返<sup>かえ</sup>りをしました。秋<sup>あき</sup>の収<sup>しゅう</sup>穫<sup>かく</sup>に向けて地域<sup>ちいき</sup>の方<sup>かた</sup>がお世<sup>せ</sup>話<sup>わ</sup>してくださいませ。感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>を忘<sup>わす</sup>れず<sup>に</sup>いたいです。近<sup>ちか</sup>くとお<sup>と</sup>られたら田んぼ<sup>た</sup>の観<sup>かん</sup>察<sup>さつ</sup>をしてくださいね。



## 子どもの感想より

○地面<sup>じめん</sup>が浅<sup>あさ</sup>いと思<sup>おも</sup>っていたけれど、深<sup>ふか</sup>くてびっ<sup>り</sup>した。気<sup>き</sup>持<sup>も</sup>ちよ<sup>か</sup>った。地域<sup>ちいき</sup>の人<sup>ひと</sup>が植<sup>う</sup>えると自分<sup>じぶん</sup>の倍<sup>ばい</sup>以上<sup>いじょう</sup>早<sup>はや</sup>くて、さら<sup>に</sup>きれいに植<sup>う</sup>えていたからびっ<sup>り</sup>した。

○田植<sup>たう</sup>えを体<sup>たい</sup>験<sup>げん</sup>して、いっ<sup>つ</sup>も食<sup>く</sup>べているお米<sup>こめ</sup>を作<sup>つく</sup>るのは大<sup>たい</sup>変<sup>へん</sup>だとい<sup>わ</sup>うことが分<sup>わ</sup>かった。

○今<sup>いま</sup>は機<sup>き</sup>械<sup>かい</sup>があるから少<sup>すこ</sup>しは楽<sup>らく</sup>になっ<sup>て</sup>いると思<sup>おも</sup>うけど、昔<sup>むかし</sup>の人<sup>ひと</sup>は大<sup>たい</sup>変<sup>へん</sup>だと思<sup>おも</sup>った。

○地域<sup>ちいき</sup>の方<sup>かた</sup>がや<sup>さ</sup>しく教<sup>おし</sup>えてくださ<sup>っ</sup>てうれ<sup>し</sup>かった。

○田植<sup>たう</sup>えはと<sup>と</sup>ても大<sup>たい</sup>変<sup>へん</sup>とい<sup>わ</sup>うことが分<sup>わ</sup>かって、いっ<sup>つ</sup>も以<sup>い</sup>上<sup>じょう</sup>にお米<sup>こめ</sup>を大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>に食<sup>た</sup>べてい<sup>き</sup>たい。

○本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>だっ<sup>たら</sup>自分<sup>じぶん</sup>たち<sup>が</sup>毎<sup>まい</sup>日<sup>にち</sup>田んぼ<sup>た</sup>を見<sup>み</sup>なければなら<sup>な</sup>いのに、地域<sup>ちいき</sup>の方<sup>かた</sup>がみ<sup>み</sup>てくださ<sup>り</sup>地域<sup>ちいき</sup>の方<sup>かた</sup>に感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>の気<sup>き</sup>持<sup>も</sup>ちを伝<sup>つた</sup>えたい。等<sup>どう</sup>々<sup>とう</sup>

どの子<sup>こ</sup>も感<sup>かん</sup>じたこ<sup>と</sup>や学<sup>まな</sup>んだこ<sup>と</sup>を自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の言<sup>こと</sup>ばで書<sup>か</sup>いていま<sup>し</sup>た。「五<sup>ご</sup>感<sup>かん</sup>で感<sup>かん</sup>じたこ<sup>と</sup>を自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の言<sup>こと</sup>ばでま<sup>と</sup>とめる」と<sup>と</sup>ても良<sup>よ</sup>い体<sup>たい</sup>験<sup>げん</sup>がで<sup>き</sup>ました。

ねんせい 1年生のサツマイモの苗植

えもできました。雨が降らな  
いうちに予定時間を少し早め  
て実施しました。地域の方に



ご指導いただき、上手に植えていました。秋の収穫が楽しみです。「おいしいおいもになあれ。」と苗  
に話しかけているかわいい1年生です。

今年度、第1回目の分散参観にご協力いただきまして、ありがとうございます

子どもたちはいつもより緊張しながらも、真剣に学習に向かっ  
ていました。学校の様子を見ていただいて、子どもさんのよいところ見つけてほ  
めていただきたいです。課題や欠点はすぐに目につきます。「うちの子は、ほ  
めることが全然なくてしかることばかり」と思うこともあるでしょうが、人  
には必ず良いところやほめるところがあると思います。「できて当然」のこ  
とではなくて、「できてすごいな」という目で見ることたくさんほめること  
が出てくると思います。ほめてもらった子どもは、「ほ



めてもらったからもっとがんばろう。」「ほめてくれた人の期待にこたえたい。」  
と  
思  
っ  
て  
や  
る  
気  
に  
な  
る  
と  
思  
い  
ま  
す  
。ほめ言葉は魔法の言葉です。私たち教職員  
も子どもの良いところをたくさん見つけて、ほめたいと思います。ほめ言葉のシャ  
ワーをいっぱい浴びて大きく成長してほしいです。

### どうとくか じかん 道徳科の時間

### とも じぶん たいせつ ところ そだ 友だちも自分も大切に作る心を育てよう

道徳の木が葉が増えてきました。どの学年も道徳科の学習が進んでいます。

道徳の時間は「自分の思いを正直に話すこと、どの考えもまちがいはないこと、いろいろな考え

方を知ること」を大切にしながら学習を進めます。

自分と違う考えをやさしい心で受け入れ学んでほし

いと思っています。これはどの教科でも一緒です。

発表者の方を向いて一生懸命友だちの意見を聞こう

としているクラスが増えてきました。



今後は校内で授業研究をするだけでなく、滋賀県の指導主事や、大学の教授にも来ていただき

学びを深めていきます。子どもと共に大人もしっかり学びます。